

## 地域コミュニティの自立・活性化（施策6-1-1）

### 【目指す姿】

地域コミュニティ協議会が、地域づくりの中心的な存在として個性をいかしたまちづくりを展開し、それぞれの地域が活性化しています。

### 《取組方針》

#### コミュニティ活動の支援の充実 6111

地域コミュニティにおける自主的・自立的なまちづくり活動を促進するため、地域と行政が連携して、自治会の再生やまちづくりを担う人材の育成・発掘、収益事業による必要な財源の確保など、地域コミュニティ協議会の人材育成や体制強化に取り組みます。

また、地域コミュニティ協議会が地域のまちづくりの中心的な役割を果たし、幅広い世代の住民が地域活動に参加できるように、地域コミュニティ協議会における業務のデジタル化の推進、SNS等の様々なツールを活用した地域活動に関する情報の発信などに取り組みます。

#### コミュニティ活動拠点の充実 6112

地域住民による自主的・自立的なコミュニティ活動を促進するため、地域の特性をいかながら、住民が利用しやすい施設として、老朽化したコミュニティセンター等の改築を行うなど、活動拠点の計画的な整備の推進や適切な管理・運営の支援に取り組みます。

## 【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
法人化したコミュニティ協議会の数	3協議会(R5)	6協議会	↑
自治会加入率	51.0%(R5)	52.0%	↑

## 【主な取組事業】

## ◎ 自治会再生支援事業

地域の連帯感を取り戻し、地域住民による自主的・自立的なまちづくりを促進するため、地域と行政が連携し、自治会再生に向けた新たな取組を実施するなど、地域コミュニティの中心的役割を担う自治会の活動の支援に取り組みます。

## ◎ 地域まちづくり活性化支援事業

市民と行政との協働による自主的・自立的なまちづくりを推進するため、地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動の支援や事務局体制の強化に取り組みます。



地域コミュニティの活動

地域コミュニティ協議会での  
タブレット端末操作説明会

## 参画・協働の推進（施策6-1-2）

### 【目指す姿】

市民が、政策立案の場やまちづくり活動に積極的に参画しています。また、多様な主体が、地域におけるそれぞれの役割を果たし、連携・協力して地域課題の解決に取り組んでいます。

### 《取組方針》

#### 市民参画の推進 6121

市民が必要とする情報を分かりやすく効果的に提供し、市民の市政への関心を高めるため、広報紙やホームページ、SNS等の様々な広報媒体を活用した情報発信の充実に取り組みます。

また、市民が市政に参画し、市民の意見を市政運営に積極的に取り入れるため、パブリックコメントや市政出前ふれあいトーク等、市民の声を聞く機会の充実、市政への参画機会の拡充などに取り組みます。

#### 市民との協働の推進 6122

市民、地域コミュニティ協議会、市民活動団体等、多様な主体による市民活動を促進し、市民主体のまちづくりを実現するため、市民活動に関する情報の収集・発信や学習機会・交流の場の提供などに取り組みます。

また、協働の担い手を育成するため、協働意識の醸成を図る啓発講座の開催や協働推進員への研修、市民活動団体のニーズに即した中間支援機能の強化などに取り組みます。

さらに、地域コミュニティ協議会や市民活動団体が、団体同士の連携強化を図り、自立的に活動することができるよう、地域への定期訪問による伴走型支援など、組織基盤の強化に取り組みます。

## 【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
たかまつホッとLINEの登録者数	11,000人(R5)	22,000人	↑
市と市民活動団体等との協働取組数	127件(R4)	131件	↑

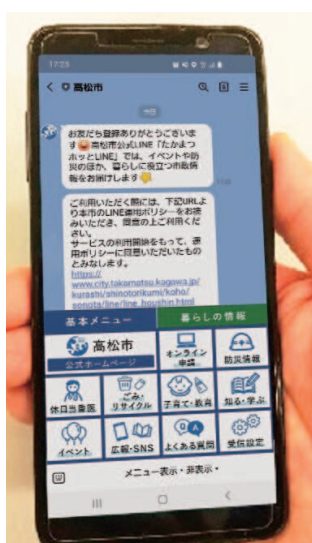
## 【主な取組事業】

### ◎ SNSを活用した魅力発信事業

市政情報や市の魅力を幅広く情報発信することができるよう、市公式SNS「たかまつホッとLINE」等の効果的な活用と登録者の拡大に取り組みます。

### 市民活動センター管理運営事業

市民活動の促進を図り、協働によるまちづくりを推進するため、市民活動に関する情報の提供や相談・支援、学習機会の提供など、市民活動センターの機能強化に取り組みます。



たかまつホッとLINE



高松市まちづくり学校  
(地域づくりチャレンジ塾2023)

## 離島の振興（施策6-1-3）

### 【目指す姿】

島の住民が島内外の様々な主体と連携し、地域の課題解決や新たな魅力づくりに取り組んでいます。また、島の魅力を島内外の多くの人と共有することで、島の交流人口や関係人口等が増加しています。

### 《取組方針》

#### 多様な交流の促進 6131

島の魅力をいかした特色ある島づくりを推進し、交流人口・関係人口の創出・拡大を図るため、事業者や大学等、多様な主体との連携を図りながら、島の文化や歴史、自然、島の資源の掘り起こしと磨き上げの支援を行います。

また、「ワーケーション」や「二地域居住」の場としての魅力を創出し、更なる交流・定住の促進を図るため、島民と連携を図りながら、島の情報発信や体験イベントの開催などに取り組みます。

#### 航路の確保と利便性の向上 6132

離島航路の確保や利便性の向上を図るため、国や香川県、運航事業者、島民代表者で構成する協議会を定期的を開催し、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項や持続可能な航路の在り方などについて協議・検討を行います。

また、島民が生きがいを感じることにつながる、島外へ移動しやすい環境を構築するため、離島航路における島発往復割引の拡充や高齢者割引を継続して行います。

## 【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
定住人口(女木島、男木島)	278人(R5)	281人	↑
定期航路輸送者数(女木島、男木島、大島)	273,066人(R3)	277,000人	↑

## 【主な取組事業】

## ◎ 大島振興方策推進事業

大島の振興を図るため、ハンセン病療養所の歴史等の継承、瀬戸内国際芸術祭を契機として育まれた島外の人々との交流の活性化などに取り組みます。

## 離島航路振興事業

女木島・男木島と高松港を結ぶ航路の利用促進や離島振興を図るため、航路の確保・維持に向けた支援に取り組みます。



大島文化財学習



女木島・男木島と高松港間を航行する「めおん」



## 連携の推進（施策6-1-4）

### 【目指す姿】

産学民官の多様な主体との連携の推進により、複雑化・高度化する様々な地域課題が解決し、地域社会を支える人材も育成されています。

### 《取組方針》

#### 多様な主体との連携の推進 6141

様々な分野の地域課題の解決に取り組むため、ノウハウを持つ企業等との連携や「知」の拠点である大学との連携の強化に取り組みます。

また、「大学・地域共創プラットフォーム香川」等を活用しながら、産学官連携を推進します。

#### 香川県等との連携の推進 6142

香川県と本市の共通の重要課題を解決するため、知事と市長のトップ会談を始め、情報共有や意見交換等を積極的に行うなど、連携の強化を図ります。

また、瀬戸内エリアの活性化に向けて、共通の課題を有する近隣自治体やエリア内の他自治体との広域的な連携による取組を推進します。

#### 連携中枢都市圏の活性化 6143

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の構成自治体と「経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」に向けた連携事業の推進により、活力ある社会経済の維持や人口減少の抑制を図るため、更なる連携強化に取り組みます。



## 【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
多様な主体と連携・協力している取組数	251件 (R5)	269件	↑
瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン 成果指標の達成率	73.4% (R4)	89.3%	↑

## 【主な取組事業】

## 多様な主体との連携推進事業

複雑化・高度化する地域課題に的確に対応するため、企業や大学等の多様な主体と連携し、それぞれが持つ特性をいかしながら、課題解決に取り組みます。

## 広域都市連携事業

香川県や近隣自治体、瀬戸内エリアの自治体との共通する重要課題に対応するため、知事と市長のトップ会談や瀬戸内4県都市長会議等において、意見交換を行い、連携して課題解決に取り組みます。

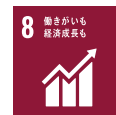


学生とのワークショップ



香川県知事と高松市長のトップ会談





## スマートシティの推進（施策6-2-1）

### 【目指す姿】

デジタル技術を活用した様々なサービスの普及により、本市での生活や仕事がより一層便利で快適になっています。また、行政のデジタルトランスフォーメーションが進み、誰もがいつでもどこでも行政サービスが利用できます。

### 《取組方針》

#### 地域デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

6211

複雑化・高度化する地域課題の解決や地域経済の活性化を図るため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」との連携により、デジタル技術とデータを活用して、新たなサービスの創出やデジタル人材の育成に取り組みます。

また、行政データのオープン化による行政の見える化を推進し、政策決定の透明性の確保やデータの公開・共有を通じた業務効率の向上に取り組みます。

さらに、デジタル技術の進展に伴う、様々な利便性を誰もが享受できるよう、利用環境の整備や地域が取り組むデジタル活用への支援など、デジタルデバイド対策を推進します。

#### 自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

6212

市民の利便性や行政サービスの向上、業務の効率化・最適化を図るため、行政手続のデジタル化、窓口サービスのワンストップ化、キャッシュレス決済の導入など、デジタル化による窓口業務改革に取り組みます。

また、職員のデジタルリテラシーを向上させ、デジタルを活用した業務改革を推進する組織となるよう、DXに関する研修の実施など、デジタル人材の育成に取り組みます。

## 【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
デジタル活用により解決した地域課題の件数	—	2件	↑
たかまつデジタル市役所での申請件数	—	2,300件	↑

## 【主な取組事業】

### ◎ スマートシティたかまつ推進事業

本市の地域課題の解決を図るため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」との連携を強化し、IoT共通プラットフォームを活用した様々な分野のデータの収集・分析や行政情報のオープンデータ化などの推進に取り組めます。

### ◎ 自治体DX推進事業

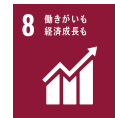
市民の利便性の向上や庁内業務の効率化を図るため、行政手続のデジタル化やデジタル人材の育成などに取り組めます。



スマートシティたかまつ  
推進協議会運営委員会



たかまつデジタル市役所



## 行財政運営の基盤強化（施策6-2-2）

### 【目指す姿】

多様化・複雑化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応した行財政運営により、持続可能で質の高い行政サービスを提供しています。また、職員一人一人が、限られた行財政資源を効率的・効果的に活用する高い意識と変革意識・チャレンジ精神を持っています。

### 《取組方針》

#### 効率的・効果的な行政運営の推進 6221

市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応した行政サービスを提供するため、業務の変革や現行事業のスクラップ、新たな企画の実施など、必要な事業の選択と集中を行います。

また、公共施設の効率的・効果的な配置により、持続可能な施設運営と市民ニーズに適合したサービスを提供するため、公共施設の集約化や複合化、ライフサイクルコストの縮減など、施設再配置や適正な維持管理・長寿命化に取り組みます。

#### 健全な財政運営の推進 6222

限られた財源を重点的・効率的に配分し、将来に過大な負担を残さない財政運営を実現するため、ふるさと納税やクラウドファンディング等の自主財源の確保による財源の充実・強化、公共施設の更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うことによる財政負担の軽減・平準化などに取り組みます。

また、自主・自立的な財政運営の実現に向けて、安定的な歳入を確保するため、市税などの徴収率の向上や受益者負担の見直し、また、交流人口・関係人口の創出・拡大を図りながら、企業誘致、産業振興、移住・定住の促進などを推進し、新たな財源確保に取り組みます。

#### 職員力の向上 6223

市民サービスの向上を図るため、職員一人一人のシビックプライドを醸成し、変革意識とチャレンジ精神を持って、分野横断的・組織横断的に対応できる人材を育成します。

また、質の高い行政サービスの提供に向け、職員の意識改革と意欲の醸成を図るため、職員研修制度の充実、能力・業績に基づく人事評価の実施、昇任試験制度の改善、庁内における働き方改革に取り組みます。

## 【成果指標】

指標名	現況値	目標値(R8)	目指す方向
行財政改革計画の実施項目の達成度	—	100%	↑
高松市に誇りと愛着を持って仕事をしている職員の割合	85.8%(R5)	100%	↑

## 【主な取組事業】

### ふるさと高松応援寄附促進事業

ふるさと納税による寄附者の拡大や自主財源の確保を図るため、寄附金の使い道となる取組や本市の魅力の発信、返礼品となる特産品の充実などに取り組みます。

### 人材育成事業

多様化する市民ニーズや複雑化・高度化する地域課題に的確に対応し、将来を見据えた行政運営ができる職員を育成するため、階層別研修や専門的な研修を実施します。



ふるさと納税返礼品



市民サービスの向上を目指す職員研修

